

TCAの合言葉 ①自転車で風を追いかけよう ②健康と友情の輪をひろげよう ③道と自然と文化に親しもう

T C A ニ ュ ー ス No. 70

東京サイクリング協会 〒110 東京都台東区上野3-8-8 ☎03-3833-3969

サイクリストの五楽 ①輪楽・自転車を楽しみ ②行楽・旅を楽しみ ③道楽・道を楽しみ ④友楽・友を楽しみ ⑤遊楽・遊びを楽しむ

1992年9月発行

92、93年度のTCA新役員が決まりました

6月の総会および7月の理事会において新役員（25名）が決まりました

名誉会長	秦野 章
顧問	北川四郎・吉川清太郎・柳田青蘭
会長	佐近光三
副会長	橋本 豊・加藤元彦・市川博保・福島松吉
専務理事	鈴木茂夫
常任理事	高木康雄・北川常夫・中村洋一郎
理事	近藤隼人・斎藤勇二・高木恵子・山沢照夫・渡辺康雄・磯部光博 林 文博・池田 宰・永井英次・森嶋一男
監事	千代間武雄・岡村真雄

※尚、池田理事は、在籍のまま'92.10から一年間ドイツに留学します。帰国後の活躍を期待しています。

＝東京いいところ 自転車散歩＝ ～東京再発見～

技術研修会などで、参加された方々から、気軽に走れる機会を作ってほしいとの声があり、フリーランを企画してみました。

今回は、第一回目としてお台場公園を選んでみました。都心に近く、ウインド・サーフィンやフィッシング、また、MTBを試みる人が多い所です。但し、近くに食事の施設が有りませんので、持参するか、時間を調整して帰りに銀座や深川でご自由に工夫して下さい。

フリーランは、参加の予約も費用も取らず気軽に集合して目的地まで走り、仲間で食事をしたりして、自由に解散します。世話人はコースの一例をガイドするだけです。別のコースをとってもかまいませんので会員各自の責任で走って下さい。

是非参加してみてご意見を。好評だったら担当者を募って継続して生きたいと思えます。又、クラブやグループが新たに出来きたらと期待しています。

集合日時： 9月27日 10時15分

集合場所： パレスサイクリング道路 受け付けテント付近（二重橋前交番裏）

出発： 10時30分 片道約12km

解散： 15時 集合場所（パレス）

問合せ： 担当 中村洋一郎 ☎03-3541-6466

当日連絡先： パレス事務局 高木 ☎03-3211-5020

『タンデムサイクルに参加して』

世田谷区 豊田悠子

第1回目の～神宮外苑でタンデムに乗れる～というニュースを知った時、私は十数年前の夏休みに軽井沢で数人の友達と二人乗りの自転車を借りて楽しく遊び回った遠い日々の事を懐かしく思い出して心を弾ませました。

そして「30人の定員にもう達していたら…」と期待と不安の気持ちでドキドキしながら電話番号を回したのです。

桜の花が満開の約2kmのコースに再挑戦！

それは私が視覚障害者となって4年目の春の事でした。自分では体力にも運動神経にも自身があったのですが走るという基本的な動作を数年していなかったせいか、4周すると太腿が少し重く感じられ、その日は初めてという事もあって視覚障害者の人数が多く、乗りたい気持ちを押さえざるを得ませんでした。でも、東京サイクリング協会の方が前に乗られ、周りの景色や、すれ違う人々の様子を手にとるように話して下さったり、ご自分の生活などを気さくに聞かせて下さり、会話も弾みとても楽しいひとときで、次回の計画を心待ちにして別れました。

2回目は雨天のため中止。

そして今年の新年、寒い日でしたが、思いがけずお餅つきが行われ、食いしん坊の私はタンデムで何周したかよりもお餅のお代わりをした事の方が印象深く記憶しています。

2回目の春がめぐって神宮外苑の桜は散り、数本ある八重桜が咲いていたような気がします。

この日、私は大冒険！ 何周かした後、「前に乗りたい」と生来の図々しさでお願ひしたところ、一人の方（名前憶えてなくてご免なさい）が快く承諾してくださり、もう有頂天で颯爽と前に乗りました。後ろで「そのまま真っ直ぐ」、「少し右に切って」、「修正して」などとキューを出してくださるとおりにハンドルの操作をしました。操作の仕方はハンドルの中心と自分の中心を指示された動作に合わせたのです。「うまいなー」のおだてに調子よく「はい、次の方どうぞ」なんて。でも2周目はだいぶ人出も多く、神経を使い、終わり頃には疲れはじめていましたので「3周目はどうですか」との問いに、思わず「後ろ乗りの方が楽です」と本音を出して笑われてしまいました。

こんな楽しいタンデムの会を続けてくださる皆様に感謝しております。

一般道も乗れるようになる日が、一日も早く来るようにと希望しつつ……

1992年7月23日付

東京都盲人福祉協会事務局・高柳周子さんから、「タンデムの会も4回を重ね、ボランティアの皆様のご協力には、クラブ員一同感謝しております。

先日、鈴木様より会員の感想文を、とのお申し出がございましたが、この程、全盲の女性より感想文が届きました。この女性は中途失明ですが、盲人用ワープロをマスターし、心の内を綴ってきました。」

明治時代の<自転車>のイメージはグサイ！

21世紀の地球環境を守る“Z E I V”に乗ろう！！

皆さん、j e e pという乗り物を知っていますか？ そうです。j e e pはジープといって米国のウィリス社が第二次世界大戦中開発した軍用車の商標名なのですが、現在では四輪駆動の万能小型自動車の固有名詞みたいになっています。

自転車の仲間でも、マウンテン・バイクは独立した固有の市民権をもっている自転車です。「マウンテン・バイク」に乗ることは、一般の自転車に乗ることとは一味違った遊び心とカッコよさ的フィーリングがあります。

地球環境を守る国際会議、“地球サミット”では二酸化炭素の膨大な排出による地球の温暖化が重大な問題として討議されました。また、今年のモーターショーでは、無公害車のプロトタイプが数多く出品展示されたそうです。今や、電気自動車や太陽電池自動車がZero Emission Vehicle (Z E V) 無排気乗用車として実用化の段階に入っているのです。

それ以前に、自転車は人間一人・二人が移動する手段としては、地球上で最も優れた省エネルギー・無排気・高知能の乗用車であることを再認識する必要があります。 私たちが住むこの地球を快適な環境に保つためには、自動車エンジンから出る二酸化炭素の排出規制を、今直ぐ、地球規模で実施する必要があります。しかしながら、現実はそれを許してはくれません。それは、全世界の産業・流通機構や人々の個人・家庭・社会における生活の大部分が、いまだに石油エネルギーに頼っているからです。そこで、せめて個人が近距離(1~20 km)を移動するときは、自動車を使わずに、排気ガス・ゼロの人間エンジンの自転車=無排気・高知能・乗用車を使用することを提案します。英語で、Zero Emission Intelligent Vehicle = Z E I V = ズェィヴです。

“じてんしゃ”という一般社会に根強く定着している名前は、今更、変更することは不可能ですが、その機能は<省エネ・無排気・“人間エンジン付き”乗用車>であることを、一般社会に知らせるためにネーミングを一新しましょう。

みんなで、21世紀の地球環境を守る
“Z E I V” に乗りましょう。

“地球環境にも人間環境にも優しい乗物 = Z E I V = 21世紀の乗物です”

*

なお、“Z E I V”のロゴの入ったカッコイートシャツがあります。

1枚 ¥1000で御希望の方におわけします。送料は、1枚につき250円です。御希望の方は、月~金の10時~4時に、☎03-3585-4191

加藤元彦までお知らせ下さい。